

一級自動車工学科			2026年度 授業計画			
時期	3年D巡	単元	学科	教科名	エンジン2	
科目	自動車整備	教科書等 持参品	1級エンジン電子制御装置 クロームブック		発行日	2026年4月1日
総時限	21時限				教科 担当	多賀
総時間	33.6時間					
単位数	2					
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当						
自動車整備士として、エンジン整備の実務経験がある教員によりエンジンの構造・作動について指導する。						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
①CAN通信に関する整備技術を学ぶ。 ②外部診断機接続時のデータモニタ解析を学ぶ。 ③センサ、アクチュエータの高度故障診断を学ぶ。						
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）						
①CAN通信の概要、出力波形を覚える。 ②CAN通信の診断のための機器の取り扱いを覚える。 ③CAN通信の回路不具合時の故障診断を理解する。 ④ガソリンエンジン、ディーゼルエンジンのモード毎のデータモニタ読み取りができる。 ⑤センサ、アクチュエータの高度故障診断を理解する。						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。 四択、○×、選択肢、記述により100点満点で評価する ・合格点：70点以上 80点以上：優 70点以上：良 70点未満：不可 ・不合格の場合、再試験を受験し、70点以上で合格とみなす。 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。						
5. 準備学習						
事前に次回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項を学習する。						
6. 学修時間と単位						
本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。 1単位の修得に必要な学修時間の目安は、15～30時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）30～15時間である。						

